

テーマ

「義歯刻印法を考える」～高齢者人口の増加、法医学歯科学における貢献

近年、補綴物に所有者の名前などを刻印して個人識別を図る義歯刻印法普及の声が増えるようになり、老人施設入居者の義歯の取違及び紛失防止に有効である事が分かっている。

また、義歯に名前が入る事により義歯装着励行に繋がり、摂食栄養補給の改善と感染症対策に有効な消毒が可能な事、あるいは誤嚥性肺炎(高齢者死亡原因高位)の防止にも寄与する事などの報告が寄せられている。

他方、東北地方太平洋沖地震津波災害で多数の御遺体の納棺を体験された、本日にここに菊池文恵歯科技工士(岩手県出身・GSKジャパン)の方も見えており、行方不明者や遺体の身元確認の有効な手段として法医学歯科学の領域で大きな貢献をしている。

法医学歯科学技工懇話会についてや、その他のメリットにも言及して、義歯刻印法の意義をいろんな手法やアイデアをみんなで紹介しあい、歯科技工士としての役割の理解を深めて頂きたい。